

令和6年度に正会員が開催した安全大会について

	埼玉協会	東京協会
日程	令和7年3月14日 14:00～16:20	令和7年1月24日 15:00～16:30
形式	リアル	リアル
参加人数	70名	150名
開催案内	会員企業にファックス配信 HPに掲載 資料_埼玉-1 参照	全正会員へ郵送にて案内 (賀詞交歓会と同日開催のため、賀詞交歓会と安全衛生推進大会の案内を一枚にまとめた。また、会長名・安全衛生推進委員会委員長名で会員宛てに参加を呼び掛ける手紙を同封した) 資料_東京-1 参照
講師	- 埼玉労働局 労働基準部健康安全課 - 二階堂労働安全コンサルタント事務所 CSP労働安全コンサルタント	- 東京労働局 労働基準部安全課 地方産業安全専門官 - 安全衛生推進委員会 副委員長
次第	①主催者あいさつ (会長) ②講演 - 埼玉労働局 「産業廃棄物処理業における労働安全衛生の課題と対応について」 - 二階堂労働安全コンサルタント事務所 「廃棄物処理業における安全衛生」 ③事例発表(1社) ④安全宣言 資料_埼玉-2 参照	①開会 (専務理事) ②主催者挨拶 (会長、安全衛生推進委員会委員長) ③来賓祝辞 (東京労働局 労働基準部安全課長) ④講演 - 東京労働局 「産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について」 ⑤安全衛生標語コンクール授賞式 ⑥労災防止研修 - 安全衛生推進委員会 副委員長 「動画 de 危険予知」『健脚ぐるぐる体操「転ばNice 東産協！」 ⑦安全宣言 (安全衛生推進委員会委員長) ⑧ガンパロー・コール (安全衛生推進大会プロジェクトリーダー) ⑨閉会 (専務理事) 資料_東京-2,3 参照
課題等	周知徹底を心掛け、参加者を増員させる。	経営層の意識改革を目的として安全衛生推進大会を開催することとした。賀詞交歓会と同日開催としたため、今まで研修会等に参加していなかった企業や経営層の方に参加いただくことが出来た。 今後も毎年、安全衛生推進大会を開催していく。 次回は更に参加数を増やせるように、広報の方法について考えていく。 また、開催期間が「年末年始 Safe Work Tokyo 推進強調期間」に該当することから、次回の安全衛生推進大会には東京労働局に後援いただけるよう働きかける。

	神奈川協会	愛知協会
日程	令和6年12月4日 14:00～16:30	令和7年2月12日 13:30～16:15
形式	リアル	リアル
参加人数	83名	77名
開催案内	会員企業にメール配信 HPに掲載 資料_神奈川-1 参照	会員企業にファックス配信 HPに掲載 資料_愛知-1 参照
講師	- 神奈川労働局 労働基準部安全課 安全専門官 - 日本労働安全衛生コンサルタント会 CSP労働安全コンサルタント	中央労働災害防止協会 中部安全衛生サービスセンター 安全管理士 衛生管理士
次第	①主催者挨拶 （会長、安全衛生協議会議長） ②労働安全衛生標語の優秀作品表彰式 ③講演 - 神奈川労働局 「産業廃棄物処理業における労働災害発生の現状」 - 日本労働安全衛生コンサルタント会 「労働災害による送検事例と化学物質による労働災害防止のための新たな規制について」 ④閉会挨拶 （安全衛生協議会委員） 資料_神奈川-2 参照	①開会のことば （安全衛生委員） ②挨拶 （会長、安全衛生委員長） ③来賓挨拶 （愛知労働局） ④講師紹介 ⑤講演会 - 中央労働災害防止協会 「災害廃棄物処理業における事故事例と事故防止について」 ⑥事例発表（2社） ⑦表彰 - 安全優良職長表彰 - 安全優良事業所表彰 - 安全標語入賞作品表彰 ⑧安全宣言 （安全衛生副委員長） ⑨閉会のことば （安全衛生委員） 資料_愛知-2,3 参照
課題等	令和3、4年度は、webセミナーで行った(令和2年は中止、3年は68名、4年は64名)。4年ぶりの対面式開催の令和5年度も参加者60名にとどまった。 令和6年度は、神奈川県内において、3件の死亡事故が発生しており、強い危機感を持って労働災害防止対策に取り組んでいただくよう11月に会員に緊急要請をお願いした中での開催となった。 実際に労働災害が起きてからでは遅く、未然に防ぐことが大切で、令和7年1月に従業員の安全教育として、当協会で作成した「初歩の労災マニュアル」を教科書として、より実践的な従業員向けの安全衛生研修会を開催した。	2020年までのコロナ禍前は参加者が概ね100名前後であったが、2021年度中止、2022年ハイブリット開催（会場32名、ライブ84名）、2023年リアル開催58名、2024年リアル開催62名、2025年リアル開催77名と少しずつ回復基調にある。 第13回大会では100名程度の参加を確保できるよう各支部を通じて働きかけをしたい。

	広島協会	鹿児島協会
日程	令和6年7月11日 13:30～	令和6年12月9日 13:30～15:30
形式	リアル	リアル
参加人数	59名	58名
開催案内	会員企業、広島労働局にファクシミリ配信 資料_広島-1 参照	会員企業にメール配信 HPに掲載 資料_鹿児島-1 参照
講師	・広島労働局労働基準部 健康安全課 副主任地方労働衛生専門官	・鹿児島労働局健康安全課 産業安全専門官 ・永田重機土木(株) ・(株)ヒラヤマ
次第	①開会 （安全衛生委員長） ②主催者挨拶 （会長） ③来賓祝辞 （広島労働局） ④令和6年度「労働安全衛生表彰」 ⑤令和6年度「安全標語」入選作品発表・表彰 ⑥事例発表 J&T 環境株式会社 「J&T 環境(株)における安全衛生活動及び BCPの取り組みについて」 ⑦安全宣言 （安全衛生委員） ⑧閉会 （安全衛生委員） 資料_広島-2 参照	①開会挨拶 （会長） ②表彰（緑十字賞表彰伝達、優良事業所、標語） ③来賓挨拶 （鹿児島労働局） ④事例発表（2社） ⑤安全宣言 （安全衛生委員） ⑥講演 ・鹿児島労働局 「産業廃棄物処理業における労働災害の発生 状況と安全衛生」 ⑦閉会挨拶 （安全衛生委員長） 資料_鹿児島-2,3 参照
課題等	令和6年度より、労働安全又は労働衛生の向上に尽力し顕著な功績が認められる個人及び事業所を表彰することにより労働安全衛生の推進に資することを目的として、労働安全衛生優良従事者並びに労働安全衛生優良事業所の表彰を行うこととした。 協会全体の労働安全衛生の充実のため、表彰の趣旨を会員へしっかりと周知するなどし、受賞者の増加を図っていく必要がある。 協会が主催する安全衛生研修等の内容の充実を図り、参加率を高めるとともに、経営トップの方針決定や所信表明率及び安全衛生規程作成率を高める必要がある。	安全大会に参加する事業者がある程度固定化しており、安全衛生に対する意識の低い事業者の参加を促す必要がある。